

英国で誕生する ISA ミリオネア

中村 美江奈

■ 要 約 ■

1. 英国の個人貯蓄口座（ISA）では、資産残高が 100 万ポンド（1 ポンド=160 円換算で 1.6 億円）を超える「ISA ミリオネア」が出現している。ISA 口座は年間最大 2 万ポンドまでの投資等に対する非課税枠が付与される資産形成口座で、日本の NISA のモデルともなった制度である。
2. 導入から 20 年超を経て、ISA の資産残高は約 7,000 億ポンドまで拡大し、英国の家計金融資産の約 1 割を占めるに至っている。特に当初から導入されている株式型 ISA と預金型 ISA が、全体の 9 割超を占める。投資家の中には、ISA ミリオネアとなる程の成功を収める人もいる。
3. ISA を提供する金融機関も、ISA を主力商品と位置付けて利用を支援するサービスに注力している。昨今では、ISA ミリオネアに注目し、その成功要因を紹介するケースも見られる。特に多数の ISA ミリオネア顧客を擁する大手投資プラットフォームは、体験談に基づいた具体的な投資戦略に言及し、投資家への示唆となる情報を提供している。
4. 英国では、ISA の強力な非課税枠が個人の資産形成を後押ししている。確定拠出型年金などの私的年金と合わせれば、非課税枠は夫婦で最大年間 12 万ポンドにもなる。また、ISA ミリオネアのように、分かりやすい成功事例があることも利用促進には効果的であろう。
5. 翻って、日本では、政府が「資産所得倍増プラン」を年末までに策定する旨を 2022 年 6 月に発表し、非課税枠の拡大や恒久化も含めた NISA 拡充策に注目が集まっている。NISA 億万長者とまではいかないかもしれないが、英国 ISA に倣った個人・政府・金融機関が一体となった取り組みがあっても良いといえよう。

野村資本市場研究所 関連論文等

- ・ 神山哲也・荻谷亜紀「英国におけるライフタイム ISA と年金税制改革の議論」『野村資本市場クォーターリー』2016 年春号（ウェブサイト版）。
- ・ 神山哲也・田中健太郎「英国 ISA シーズンと新 ISA」『野村資本市場クォーターリー』2014 年春号（ウェブサイト版）。

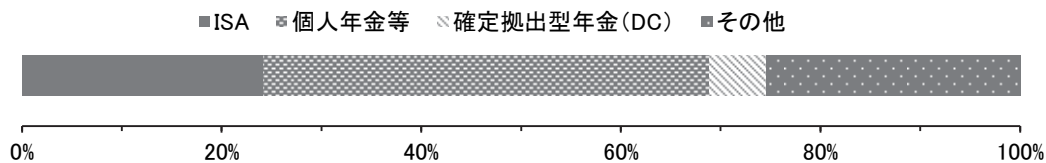
I 英国リテール金融市場の主力商品となる ISA

英国において、個人貯蓄口座（ISA）の利用を通じて 100 万ポンド（1 ポンド=160 円換算で 1.6 億円）を超える金融資産の積み上げに成功した「ISA ミリオネア」が出現している。ISA は、個人の資産形成を促すべく導入された英国特有の優遇税制付きの貯蓄口座である。一般的に個人が株式や投資信託の売却益や配当金、預金の利子等を得た場合には、その一定割合を税金として支払う必要がある。この点、ISA を利用すればこれらの税金の支払いが免除されることから、ISA は個人投資家にとってメリットが大きい制度である。

既に導入から 20 年以上が経過した ISA は、資産残高が約 7,000 億ポンド、口座数が 2,700 万まで拡大し、今や英国の個人金融資産の 1 割近くを占める。そして、個人に ISA の利用が浸透する中で、ISA ミリオネアとなる程に投資に成功する人も出てきている。

金融機関も ISA を主力商品として位置付け、個人投資家による ISA の利用を支援するためのサービスを提供している。多くの個人投資家が利用する投資プラットフォームにおける 2021 年の ISA の預かり資産残高は 24% を占めている（図表 1）。また、ISA 投資の成功者ともいえる ISA ミリオネアに注目して、その成功要因の分析や紹介を行っているケースもみられる。そこで、本稿では、英国の ISA 市場の現状を踏まえた上で、ISA ミリオネアの実態について見ていく。

図表 1 英国の投資プラットフォームでのタイプ別の預かり資産残高



(出所) Fundscape より野村資本市場研究所作成

II 成熟化する英国 ISA 市場と ISA ミリオネアの誕生

1. ISA の制度概要

英国の ISA は、日本の少額投資口座（NISA）のモデルとしても知られている。英国では、金融商品の売却等で利益を得た場合、通常であればその額の 10%、年間所得が 50,270 ポンドを超えていれば 20% の税金が徴収される。これに対して、ISA 口座を利用すれば、個人は課税されることなく利益を受け取れる。仮に年間所得が 6 万ポンドの個人が毎年 1 万ポンドを 20 年連続で拠出し、年間 3% のリターンを毎年獲得できたとすると、一般口座に比べ 1.5 万ポンドも受取額が多くなる¹。

¹ 毎年 1 万ポンドを 20 年間拠出し続け、年間のリターン 3%（値上がり益のみ、分配金等は考慮せず）で換算した場合、20 年間で残高は 247,833 ポンドとなり、売却益に対するキャピタルゲイン課税は 9,566 ポンドと試算。

ISA は、個人の貯蓄率の向上や資産形成の促進を目的に 1999 年に導入された。現在、ISA には成人向けとして、預金や MMF を投資対象とする預金型 ISA、株式や投資信託を投資対象とする株式型 ISA、ピア・ツー・ピア・レンディング等を投資対象とするイノベティブ ISA、住宅購入費用及び年金積み立てを目的とするライフタイム ISA の 4 種類がある。これに加えて、18 歳未満の未成年を対象として親や親族等が資金を拠出するジュニア ISA²も整備されている。

1999 年の導入当初は 10 年間の時限措置だったが、その後恒久化され、利用者は長期間にわたって税制優遇のメリットを享受出来ることとなった。また、当初は年間 7,000 ポンドであった成人向け ISA の拠出限度額は、徐々に引き上げられてきた。2021~2022 年度における株式型 ISA と預金型 ISA の拠出限度額は合計で年間 2 万ポンド³となり、制度開始当初は年間 3,600 ポンドであったジュニア ISA も年間 9,000 ポンドに引き上げられた。つまり、未使用枠を翌年に繰り越すことはできないものの、成人向け ISA とジュニア ISA を組み合わせれば、毎年 2.9 万ポンド（円換算で約 460 万円）の非課税枠を使うことができる。

また、ライフタイム ISA やジュニア ISA 等の例外はあるものの、原則として随時引出しができるといった自由度の高さも ISA の特徴の 1 つである。さらに、ISA では拠出後に商品の買い替え（スイッチング）を行う場合は、ISA の非課税枠を維持したままスイッチングが行える。実際に買い替えを行うかはともかくとして、必要性を感じた時に税制優遇を失うことを恐れずに投資ポートフォリオの調整ができるという安心感を、個人投資家が持てる仕組みとなっていると言える。こうした、十分な非課税枠と自由度の高さが、ISA が支持される大きな要因であろう。

なお、ISA では、複数の金融機関での口座開設や資産移管が認められているが、1 課税年度に開設出来る口座は、ISA の種類それぞれに 1 口座と定められている。つまり、同じ課税年度に複数の株式型 ISA 口座の開設は認められておらず、また同じ課税年度中に複数の株式型 ISA 口座に拠出することも認められていないため、口座保有者はどの金融機関を利用するかを慎重に見極める必要があると言える。

2. 拡大を続ける ISA 市場

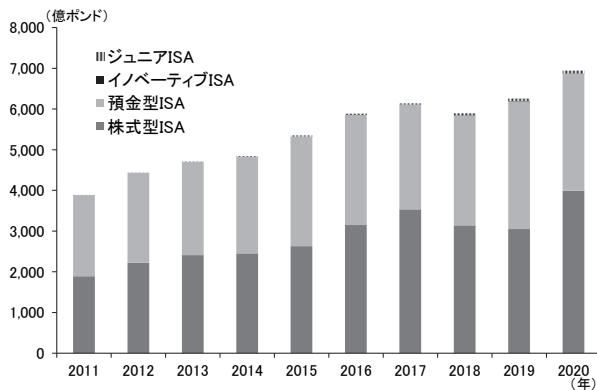
ISA の資産残高は 2021 年 5 月時点で 6,942 億ポンド⁴となり、英国の家計金融資産の約 1 割を占めるまでに成長している。ISA の資産残高のうち、株式型 ISA が 6 割弱、預金型 ISA が約 4 割と残高の大半を占める（図表 2）。英国国民全体の年間拠出額では、拠出口座数が多い預金型 ISA が 368 億ポンドとなっており、338 億ポンドである株式型 ISA よりも大きい。他方で、一口座当たりの平均拠出額では、株式型 ISA のほうが大きい（図表 3）。

² 口座開設や管理は親あるいは法定後見人に限られるものの、拠出者について制約は設けられていない。

³ ライフタイム ISA の拠出限度額 4,000 ポンドも含む。

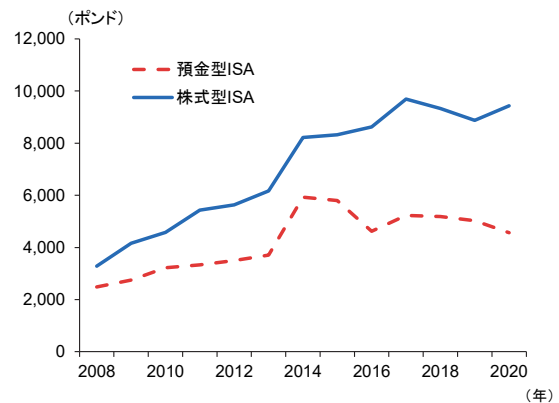
⁴ HMRC, “Annual savings statistics 2022,” June 8, 2022.

図表2 種類別のISA資産残高



(出所) HMRC より野村資本市場研究所作成

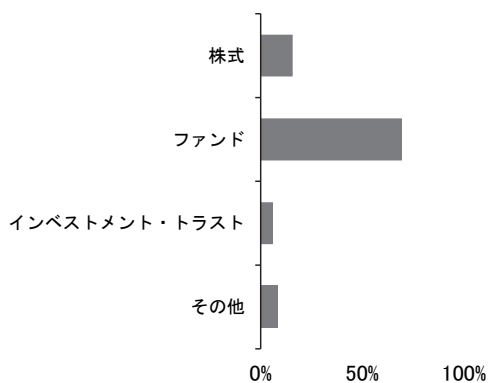
図表3 口座当たりの年間拠出額



(出所) HMRC より野村資本市場研究所作成

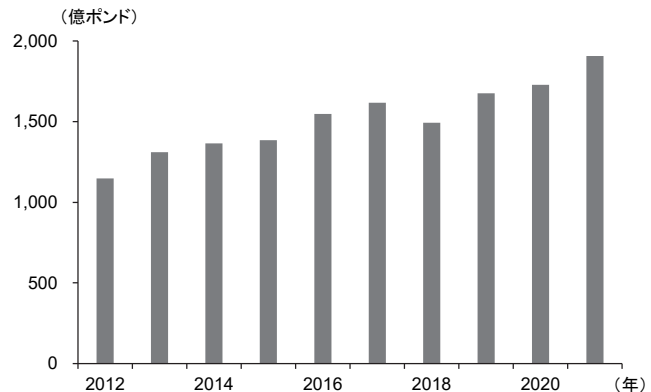
株式型ISAの残高の4分の3は、オープンエンド型ファンドや上場ファンドのインベストメント・トラスト等の投資信託が占めている(図表4)。英国投資協会(IA)によると、2021年におけるISAの年間のファンド購入額は1,908億ポンドに上っており、2012年と比較して66%増加している⁵(図表5)。他方で、株式の保有残高は、2割弱を占めるが、そのうちの3割を欧州経済領域(EEA)企業株という外国株式が占めている。大陸欧州との結びつきが強い英国では、外国株投資も多くの個人によって行われているという状況である。

図表4 株式型ISA商品別の残高割合



(出所) HMRC より野村資本市場研究所作成

図表5 ISAのファンド購入額



(注) ISAに商品を提供する資産運用会社及び投資プラットフォーム5社(コファンズ、フィデリティ、ハーグリーブズ・ランズダウン、スカンディア、トランスアクト)の数値。

(出所) IA より野村資本市場研究所作成

⁵ IA, "Fund Statistics Retail sales (Last 10 years- ISAs)," May 2022.

3. 2,000 人を超す ISA ミリオネアの誕生

ISA が制度開始から 20 年を超える中で、ISA 口座の資産残高が 100 万ポンドを超える個人も出てきている。投資情報サイトのインベスティング・レビューが 2022 年に英国歳入関税庁 (HMRC) から得た情報によると、ISA 口座の残高が 100 万ポンドを超える「ISA ミリオネア」は、2,000 人超存在する。また、300 万ポンド超を保有する個人も 60 人に上る (図表 6)⁶。更には、HMRC は最も大きい残高を持つ口座を明らかにしていないが、1,000 万ポンドを超えるケースも一定数いる可能性が高いと指摘している。そして、ISA ミリオネアの全員が株式型 ISA を利用していると考えられるともしている。

これまで ISA ミリオネアについては、一部の投資プラットフォームが自社顧客の人数に言及したことはあったが、公式な統計は無かった。このため、HMRC がデータを示したことで、英国ではこれまで以上に ISA ミリオネアへの注目が集まっている。

図表 6 ISA ミリオネアの数と ISA 口座の平均資産残高

保有額	口座保有者数	平均資産残高
100 万～200 万ポンド未満	1,870 人	123 万ポンド
200 万～300 万ポンド未満	80 人	237 万ポンド
300 万ポンド以上	60 人	620 万ポンド

(出所) Investing Reviews より野村資本市場研究所作成

III ISA ミリオネアの出現を踏まえた英国金融事業者の取り組み

1. ISA ミリオネアに注目する金融事業者

英国では、金融事業者が ISA ミリオネアを ISA 投資の成功者として注目し、その成功要因を紹介している (図表 7)。大手オンライン投資プラットフォームであるハーグリーブズ・ランズダウンとインタラクティブ・インベスターは、それぞれ 1,000 人近い ISA ミリオネアを擁しており、実際の ISA ミリオネアのデータや実体験に基づいた投資の秘訣、インタビュー記事をウェブサイトで紹介している。他方で、資産運用会社でもあるフィデリティ UK は、ISA 投資における長期投資に加え、適切な商品選択の重要性を説いている。また、個人向け証券会社であるセント・ジェームズ・プレイスやチャールズ・スタンレーも、ISA ミリオネアになる秘訣を紹介すると共に、アドバイザー等の支援を受ける重要性を強調している。

⁶ Investing Reviews, “It’s Official: UK has 2,000 ISA Millionaires,” July 23, 2022.

図表 7 金融事業者による ISA ミリオネアの紹介事例

社名	ISA サービスチャネル	ISA ミリオネアに関する具体的な言及
ハーグリーブズ・ランズダウン	オンライン/電話(口座開設は郵送でも可)	<ul style="list-style-type: none"> ● 2021 年末時点で自社の ISA ミリオネアは 973 人、平均年齢は 72 歳だが、20 代 30 代のミリオネアも存在すると指摘 ● ウェブサイトにて「ISA ミリオネアの投資の秘密」と題したリーフレットを配布 <ul style="list-style-type: none"> ➢ ISA ミリオネア 3 人のインタビュー記事を掲載、成功の秘訣に加え、同社を選んだ理由や利用するメリット等の実体験を紹介 ➢ ISA ミリオネアになる秘訣について、①毎年上限額までの拠出、②ISA シーズンの序盤での投資、③目安として 5 年以上といった長期的な視点に立った投資先の選定、④市場の低迷期にも投資し続けること、⑤投資銘柄の入念なりサーチ、⑥取引を過剰に行わない等のポイントを挙げる ● ウェブサイトにて「ハーグリーブズ・ランズダウンの ISA ミリオネアの秘訣」と題したコラムを掲載 <ul style="list-style-type: none"> ➢ ISA ミリオネアの傾向として、①毎年継続的に上限額まで拠出、②ISA シーズン序盤に拠出、③インベストメント・トラストを嗜好すること、を指摘 ➢ ISA ミリオネアの多くは 25 年以上の投資経験を持つ
インタラクティブ・インベスター	オンライン	<ul style="list-style-type: none"> ● 2022 年 1 月末時点の ISA ミリオネアは 983 人 ● ウェブサイトにて ISA ミリオネアについてのコラムを掲載 <ul style="list-style-type: none"> ➢ ISA ミリオネアの傾向として、①ISA シーズン序盤に拠出する傾向、②投資商品はインベストメント・トラストが半数近くを占めることを指摘 ➢ ISA ミリオネアの取引回数の多さに触れ、積極的な取引の重要性を示唆
フィデリティUK	オンライン	<ul style="list-style-type: none"> ● ウェブサイトで「ISA ミリオネアになれる?」と題したコラムを掲載 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 24 歳の若手を著者として起用 ➢ ISA ミリオネアは、全保有者のわずか 0.015%に留まる ➢ 長い投資期間と賢い投資選択が重要であると指摘 ➢ ISA を開始する際に最適なフィデリティ商品「Select 50」等を紹介
セント・ジェームズ・プレイス	対面/電話	<ul style="list-style-type: none"> ● ウェブサイトで「あなたの ISA 投資を見直す時?」と題したコラムを掲載 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 全 ISA 口座保有者は 2,100 万人いるにも関わらず、ISA ミリオネアが少ないと指摘、多くが上限額まで拠出していないことが要因と説明 ➢ ISA ミリオネアは 9 割が株式型 ISA を選択していると指摘、継続的な拠出と適切な投資選択や、そのための支援を受けることの重要性を説く ➢ YouTube に動画を掲載し、「つみたて投資」の重要性と、セント・ジェームズ・プレイスに直接コンタクトを取ることを推奨
チャールズ・スタンレー	対面/オンライン/電話	<ul style="list-style-type: none"> ● ウェブサイトで「ISA ミリオネアの 4 つの行動」と題したコラムを掲載 <ul style="list-style-type: none"> ➢ ISA ミリオネアになる 4 つの秘訣として、①リスク資産への投資、②早期の投資開始、上限額まで拠出③分散投資、④継続的な拠出を指摘 ➢ 投資家自身の情報収集や専門家のアドバイスを得ることの重要性も強調

(出所) 各社ウェブサイトより野村資本市場研究所作成

2. 各社の ISA ミリオネアの紹介事例とサービス概要

1) ハーグリーブズ・ランズダウン

英国最大手のオンライン投資プラットフォームであるハーグリーブズ・ランズダウンは、多くの ISA ミリオネアを顧客に抱えており、実際に ISA ミリオネアとなった個人の成功体験をアピールしている。2021 年末には同社の ISA ミリオネア顧客は前年比 60%増の 973 人となり、ISA ミリオネア全体の半数近くを擁するとされる⁷。ISA ミリオネア顧客の年齢の中央値（メディアン）は 72 歳とされ、ISA ミリオネアが長年に亘って投資を続けてきた成果を得ている姿が伺える。

⁷ “Who wants to be an ISA millionaire?” CITYWIRE FUNDS INSIDER, April 1, 2022.

ハーグリーブズ・ランズダウンは、「ハーグリーブズ・ランズダウンのISA ミリオネアの秘訣」と題したウェブサイト上のコラムや、「ISA ミリオネアの投資の秘密」と題したリーフレットを作成し、ISA ミリオネアの具体像を示している。ISA ミリオネアになる秘訣としては、①毎年上限額まで拠出すること、②ISA シーズンの序盤に投資すること、③目安として5年以上といった長期的な視点に立った投資先の選定、④市場の低迷期にも投資し続けること、⑤投資銘柄の入念なリサーチ、⑥取引を過剰に行わない等のポイントを挙げている。

また、リーフレットでは、図表8のようにISA ミリオネア3名へのインタビュー記事を中心に掲載している。3名のISA ミリオネアに共通するのは、投資に対して積極的かつ知識も豊富であるという点である。いずれも、独自の入念な情報収集によって長期的に投資したい銘柄を選定し、手数料も考慮して頻繁な売買は行っていない。

加えて、3人共にISAの前身である個人持株制度(PEP)の開始当時から拠出を続けていることから、早期に投資を始めることの重要性も示唆している。また、ISA ミリオネアに、他社から移管してハーグリーブズ・ランズダウンとの取引を開始した経緯や、同社での取引のメリットや経験を語ってもらうことで、同社のサービスや手数料の充実度も示している。

図表8 ハーグリーブズ・ランズダウンによるISA ミリオネア顧客へのインタビューの概要

	男性投資家 C 氏	男性投資家 L 氏	男性投資家 M 氏
ISA の開始年	1987年(ISAの前身のPEP開始時から利用)	1987年(ISAの前身のPEP開始時から利用)	1990年頃(PEP開始数年後から利用)
ISA 投資のきっかけ	老後に非課税収入を得られる税制優遇が魅力	老後に非課税収入が得られる点が魅力。残高が増加した今こそ、その恩恵を実感	非課税が魅力
投資資産	株式(ETFとREITを含む)	株式	株式やファンド、インベストメント・トラスト等
ミリオネア達成の秘訣	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 拠出上限額まで拠出 ◆ 年度の始めに拠出し、値上がり益を最大限享受 ◆ 企業の情報が株価に反映されるのに時間がかかることに留意 ◆ 四半期に1回はポートフォリオを見直し、特定の銘柄に拘らず臨機応変に選択 ◆ 長期的な視野で投資、5年以上保有したい銘柄を選定し、株価下落時には買い増しも 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 拠出上限額まで拠出 ◆ 年齢に応じた投資戦略の変更(若い頃はグロース、退職間近の今はインカム重視) ◆ 優良な銘柄を選定すること、手数料を考慮し、頻繁に取引を行わない 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 上限額まで拠出 ◆ 年度の始めに拠出(拠出後すぐに運用商品を購入せず、投資機会を見極めることも) ◆ 独自の情報収集に基づき投資判断。主に先進国の大手企業を選好するも、新興市場やテクノロジー企業にも注目(知見の無い分野への投資にはファンドやインベストメント・トラスト等専門家が運用する商品を利用) ◆ 長期的な視野に立った商品選択
ハーグリーブズ・ランズダウンとの取引のきっかけ、メリット等/その他一般投資家へのメッセージ	以前のフルサービスの株式ブローカーに比べ、使いやすく手数料が安い。現在は家族全員のISA口座及び証券口座をハーグリーブズ・ランズダウンで管理	以前利用していたプロバイダーの安全面での方針変更に対して懸念があったため移管、ハーグリーブズ・ランズダウンのサービスに満足	5年以上使用する予定の無い資金がある場合、ISA以外で投資する意味は見いだせない。非課税枠も利用でき、長期的な視野からの投資が可能

(出所) Hargreaves Lansdown, “The Investing Secrets of ISA Millionaires”より野村資本市場研究所作成

なお、ハーグリーブズ・ランズダウンは、株式型 ISA、預金型 ISA、ライフタイム ISA といった各種 ISA のラインナップを提供している。特に注力している株式型 ISA では、最低投資額を 100 ポンドに設定した一括拠出の口座と、毎月 25 ポンドずつ自動的に拠出する口座の 2 種類のコースを設けている。これらを通じて、投資家の資金力や、積立て投資を好むのか否かといった投資傾向に応じてサービスを展開している。また、口座開設の簡単さや、充実した商品ラインナップを訴求するだけでなく、ISA 初心者に対しては ISA を簡単に説明したガイダンスの提供や、アドバイザーの利用等も促している。

株式型 ISA の年間口座手数料は、保有資産によって異なる。ファンドに投資する場合は、残高に対して最初の 25 万ポンドまでは 0.45%、25 万ポンドから 100 万ポンドは 0.25%、100 万~200 万ポンドは 0.1%が徴収される。200 万ポンド超については手数料を徴収しない。また、ファンドの売買については、売買時に手数料は発生しない一方で、ファンドの継続手数料は別途徴収される。

また、英国株式や外国株式、インベストメント・トラスト、ETF、英国債、その他債券に投資する場合は、45 ポンドを上限に、残高に対して 0.45%を徴収する。加えて、売買時に、前月の取引件数に応じた売買手数料が徴収される。具体的には、9 件以下であれば 11.95 ポンド、10~19 件であれば 8.95 ポンド、20 件以上であれば 5.95 ポンドと、件数が多ければ多い程、売買手数料が下がる仕組みとなっている。電話での取引にも対応しているが、その場合は 20~50 ポンドの手数料が課される。その他、株式配当の再投資や外国株式の売買については別途手数料が徴収される。

ハーグリーブズ・ランズダウンの ISA の口座数は 119 万口座、預かり資産残高は 500 億ポンドに上る⁸。預かり資産ベースでは、2021 年末における ISA 以外を含めた全体の約 4 割を ISA 口座が占めるという状態である。過去 5 年間で同社の預かり資産総額は 7 割増加してきたが、そこには ISA が大きく寄与していると言えるだろう。また、ISA サービスの質という面についても、雑誌 UK インベスター・マガジンの選ぶ「ベスト株式型 ISA プロバイダー2021年」を含め、200 を超える賞を獲得するといった評価を得ている。

2) インタラクティブ・インベスター

インタラクティブ・インベスターは、ハーグリーブズ・ランズダウンと競合する大手投資プラットフォームである。買収により 2022 年 5 月に英国の大手資産運用会社 アバディーン傘下に入った同社では、2022 年 1 月末の ISA ミリオネア顧客が 983 人に上り、前年比で 34%増加している。ハーグリーブズ・ランズダウンと同様に ISA ミリオネア顧客の平均年齢は 72 歳と、インタラクティブ・インベスターの顧客の平均年齢である 56 歳を大幅に上回る。

インタラクティブ・インベスターも、ISA ミリオネアについて言及するコラムを

⁸ Hargreaves Lansdown, “Key Financial Data,” 2022 年 6 月 30 日時点 (2022 年 8 月 30 日にアクセス)。

ウェブサイトで開催している。そこでは、長期的な投資の重要性や、抛出上限額の活用を訴求する他、特に ISA ミリオネアの投資ポートフォリオや保有する上位 10 銘柄を示し、同社の全 ISA 顧客との違いについて指摘している。

具体的には、ISA ミリオネア顧客には、インベストメント・トラストの利用者が多いという特徴がある。インベストメント・トラストは、株式と同じように取引所で取引される英国の上場ファンドの呼称である。

インタラクティブ・インベスターでは、インベストメント・トラストへの投資割合が、全 ISA 顧客は 25.5%であるのに対して、ISA ミリオネア顧客では 46%に上る。

ISA ミリオネア顧客の投資ポートフォリオ全体で見ると、インベストメント・トラストと株式で 84.3%を占めており、残りがオープンエンド型ファンドやキャッシュという割合になっている。ハーグリーブズ・ランズダウンのインタビューに掲載された ISA ミリオネアも株式やインベストメント・トラストを投資資産に挙げており、インタラクティブ・インベスターの ISA ミリオネアも同様の傾向にあると言えるだろう。

このほか、インタラクティブ・インベスターの ISA ミリオネアは、ISA シーズン序盤の 4 月中に年間の約 5 割の抛出を行っており、全 ISA 顧客の 28%を大きく上回る。さらに、全 ISA 顧客の取引回数が年間 8 回であるのに対し、ISA ミリオネア顧客は年間 27 回と 3 倍強に上る。つまり、インタラクティブ・インベスターの ISA ミリオネア顧客は投資機会を上手く捉え、積極的に売買を行うことにより、資産を積み上げているという特徴を持っている。この点は、頻繁に取引を行わないと答えた ISA ミリオネア顧客がいるハーグリーブズ・ランズダウンとは様相が異なるようにも見える。

なお、インタラクティブ・インベスターでは、ISA 口座利用者は月額最低 25 ポンドからの投資が可能である。口座管理手数料は月額 9.99 ポンドを定額で徴収することに加えて、毎月初回の取引のみ無料とし、2 回目以降は取引毎に 7.99 ポンドの手数料を徴収している。アバディーンによる買収以降、ISA 関連の具体的なデータを公表していないが、2020 年末時点のデータでは、2020 年における ISA の新規口座開設数は 3.3 万口座と前年の 1.9 万口座から 154%増加していた。また、ISA 口座への純資金流入額は 16 億ポンドと、資金流入額全体の 4 割近くを占めていた。こうした形で、インタラクティブ・インベスターにおいても、ISA は中核ビジネスの 1 つとなっている。

3) フィデリティ UK

自社の投資プラットフォームで ISA 口座と運用商品を提供しているフィデリティ UK も、ウェブサイトの「ISA ミリオネアになれる？」と題したコラムにおいて、ISA ミリオネアの話を取り上げている。著者には 24 歳という若手を起用し、株式型 ISA の口座は 1,300 万口座も存在するのに対し、ISA ミリオネアはその 0.015%に相当するわずか 2,000 人に留まると説いている。その上で、ミリオネアになることの難しさや、長い投資期間が必要であることを強調している。他方で、優遇税制等の ISA の魅力や積立て投資の有効性について触れ、若い世代に対して早期の ISA 活用を促している。

さらに、「賢い投資」の重要性を強調し、フィデリティ UK が選定した 50 ファンド「Select 50」や、運用ディレクターが ISA 向けに選定したファンドを紹介し、投資初心者でも商品を選びやすくする説明を行っている。こうした取り組みがある中で、フィデリティ UK は、数々の ISA プロバイダー賞を獲得している。

なお、フィデリティ UK の ISA 口座も最低投資額が月額 25 ポンドに設定されており、手数料体系はサービス手数料（Service charges）、運用手数料（Investment charges）、その他手数料（Share dealing and other charges）の 3 つで構成されている。サービス手数料は、残高 7,500 ポンド未満に対しては、定期的な積み立てを行う場合は残高に対して 0.35% が徴収されるが、定期的な積み立てを行わない場合は 45 ポンドが課される。残高が 7,500~25 万ポンドは同じく 0.35%、25 万~100 万ポンド未満は 0.20%、100 万ポンド以上の部分については手数料免除となる。従って、サービス手数料は、高額な残高保有者であっても最大でも年間 2,000 ポンドに留まる体系になっている。

4) セント・ジェームズ・プレイス

英最大手の個人向け証券会社であるセント・ジェームズ・プレイスも他社と同様に、ウェブサイトで「あなたの ISA 投資を見直す時？」と題したコンテンツで ISA ミリオネアについて言及している。具体的には、ISA 開始から長い年月が経つにも関わらず、ISA ミリオネアが少ないこと、またその理由としては、①上限額まで拠出する口座保有者が少ない、②継続的な拠出や適切な投資選択が出来ていないことがあると指摘している。その上で、ISA 投資に際しては、ファイナンシャル・アドバイザーのような専門家の支援を得ることが重要であると強調している。

セント・ジェームズ・プレイスも株式型 ISA を提供しており、ISA 単体の数値は公表していないものの、投資信託の一種であるユニットトラスト⁹等と合算した預かり資産残高は 358 億ポンドと、全預かり資産残高 1,540 億ポンドの 2 割超に上る¹⁰。サービスの利用方法としては、ハーグリーブズ・ランズダウンと同様に、最低投資額 100 ポンド、あるいは月額 25 ポンドからの積み立て投資の 2 つのコースを設定している。他方、同社は ISA の利用においても専門家による投資アドバイスを得ることが重要との方針から、投資プラットフォームのようにオンラインで手続きを完結させるのではなく、取引開始に際してはファイナンシャル・アドバイザーへ接触する、ISA について更に詳しく確認したい場合は同社に問い合わせるといった仕組みになっている。また、投資商品についてはファイナンシャル・アドバイザーを利用した上で、個別のポートフォリオを構築することを前提としている点も、投資プラットフォーム等とは大きく異なる。

⁹ 契約型のオープンエンド型投資信託。

¹⁰ SJP, “Annual Report and Accounts 2021,” April 20, 2022.

5) チャールズ・スタンレー

英大手証券会社であるチャールズ・スタンレーも、ウェブサイトにおいて「ISA ミリオネアの4つの行動」と題してISA ミリオネアになる秘訣を紹介している。具体的には、①リスク資産への投資を行うこと、②早期にISA への拠出を開始し、拠出上限枠を有効活用すること、③分散投資の重要性、④継続的な投資の重要性を説く等、内容は他社と類似している。他方、投資家自身による情報収集や、専門家のアドバイスを必要に応じて得ることの重要性も強調する内容となっている。

チャールズ・スタンレーは、投資家の資金とニーズに合わせた3つの株式型ISAのメニューを展開している。1つ目は最低投資額を設けないコースで、オンライン投資プラットフォームを通して投資家自身が投資指図を行う「ダイレクト・インベストメント・サービス」、2つ目は最低投資額2万ポンド以上の投資家を対象に、5つのマネージド・ポートフォリオから適切なものを選択する「ファウンデーション・ポートフォリオ・サービス」である。そして、3つ目は最低投資額20万ポンド以上を対象とし、専任の担当者がポートフォリオの策定を行う「ビスポーク・インベストメント・サービス」と、投資額に応じてサービスの充実度に差異を設けるサービスを提供している。

IV 資産形成の手段として家計に浸透した英国ISA から学ぶ教訓

英国では、ISA が制度開始から20年超を経て家計に浸透し、多額の資産形成に成功したISA ミリオネアも出現している。また、多くの金融機関が、ISA を主力商品に位置付けて個人の資産形成のサポートを行っている。逆に言えば、ISA 市場の成長の背景には、制度の恒久化を含めて20数年という長い時間軸での取り組みがあったからとも言える。

ISA も全てが順調に拡大してきたわけではない。後発で導入したイノベティブ・ファイナンスISAは、リスクが高い商品への投資を行うことを前提とした制度だが、実質的な元本確保型である預金型ISAと並列で提示されているケースもあることから、英金融行為監督機構(FCA)が利用者に対して慎重な投資を行うよう2019年に注意喚起を行うに至った。また、個人マネーを通じた成長資本供給という観点から、長期資本(patient capital)ISAというISAの更なる派生版を作るアイデアもあったが、英国政府は制度を複雑化させる程のメリットを見いだせないとして、2017年に導入を断念することを明らかにした。

こうした経緯もある中で、現在のISA 拠出額の9割超は株式型ISAと預金型ISAに集中している。英国の家計がこの2種類のISAの使い勝手の良さを高く評価していることの表れであり、シンプルイズベスト(Simple is Best)の初志貫徹が最も功を奏したとも言える。加えて、英国ではISAの年間2万ポンドの非課税枠と、確定拠出型年金(DC)な

どの私的年金に対する年間 4 万ポンド¹¹もの非課税枠がある¹²。従って、個人であれば最大で年間 6 万ポンド、夫婦であれば最大で年間 12 万ポンドもの非課税枠を利用できる。

翻って、日本の NISA は、導入から 8 年目を迎えた 2021 年末には、一般 NISA 及びつみたて NISA は 1,765 万口座まで拡大し、2014 年から 2021 年までの買付額の合計は 25.5 兆円に達した。もっとも、2021 年末時点の残高は 11.8 兆円に留まり、個人の資産形成ツールの中核を成すまでには至っていない。この点、2022 年 6 月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針（骨太の方針）」及び「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画」では、資産所得倍増プランの 1 つとして NISA の抜本的拡充が盛り込まれた。また、金融庁が 2022 年 8 月 31 日に公表した 2023 年度の税制改正要望において、NISA 拡充策としてつみたて NISA への一本化を軸とし、非課税枠拡大や恒久化を盛り込んだ¹³。

共働き世帯は増加の一途をたどり、昨今では夫婦が同水準の所得を稼ぐパワーカップルも増えている。その背景の 1 つには、一人の所得では将来的な世帯全体の負担を賄いきれなくなってきているという経済的な理由があるとされる。そうした中で、資産所得を倍増させるのは並大抵のことではないが、夢のある話である。資産形成というと固い思考になってしまいがちであるが、豊かな人生・将来を想像できるワクワク感は重要であろう。英国の ISA ミリオネアはそれを具現化した一例とも考えられる。

英国の ISA 制度は、紆余曲折はあるものの、結果的にはシンプルな株式型 ISA と預金型 ISA の強力な非課税枠が個人の資産形成を後押ししている。また、英国の ISA ミリオネアのように、分かりやすい成功事例があることも利用促進には効果的であろう。NISA 億万長者とまではいかないかもしれないが、そうした展開も視野に入れた制度設計や個人・政府・金融機関が一体となった取り組みがあっても良いといえよう。

¹¹ 未使用分は 3 年間の繰り越しが可能。ただし、高所得者や年金制度によっては非課税枠が減額されるケースもある。年間非課税枠の他、107.3 万ポンドもの生涯非課税枠（lifetime allowance）も適用される。

¹² ISA と確定拠出型年金などの私的年金は、非課税枠を有するという点は同じであるが、課税されるタイミングが異なる。ISA は、例えば投資資金を給与所得から拠出するのであれば、給与に対する所得課税を支払った上で拠出する。その上で、運用益が非課税となり、引出し時も課税されない制度である。他方、DC などの私的年金は、拠出金は非課税、運用益も非課税となる。一方で年金の受け取り時には通常所得として課税される制度である。

¹³ 金融庁「令和 5（2023）年度税制改正要望について」2022 年 8 月 31 日。